

三重の土地改良アラカルト

中勢三期地区広域農道事業

1. はじめに

中勢三期地区広域農道事業は、平成4年度に完了し供用しているグリーンロード（中勢地区、中勢二期地区）の延伸計画として、平成7年度に事業着手しました。現在の津市（旧2市4町2村）と松阪市北部（旧嬉野町、旧三雲町）の農地12,030haから出荷される農産物を生産地から各種農業近代化施設へ、さらに三重県地方卸売市場へと流通する基幹道路として、二期地区終点の津市白山町国道165号から松阪市曾原町国道23号に至る22.8kmを事業計画区間としており、うち5.9kmを広域農道事業で整備しました。

なお、この5.9kmは「嬉野三雲工区」「一志工区」「白山工区」を合わせた延長となります。



2. 嬉野三雲工区

嬉野三雲工区は、県道松阪久居線からグリーンロード全体の終点となる松阪市曾原町国道23号までの3.0kmの区間で、平成8年度から16年度にかけて整備しました。県道松阪久居線側より、近鉄山田線と交差して現在の中勢バイパスの立体交差部まで2.4kmを現道拡幅整備、それよりJR紀勢本線と交差して国道23号までの0.6kmを新設整備しました。途中、JA一志東部カントリーエレベーターと接し、終点から三重県地方卸売市場を望む区間になります。



3. 一志工区

一志工区は、県道白山小津線から県道一志美杉線に接続する1.2kmの新設整備区間で、平成9年度から13年度に整備しました。



4. 白山工区

最終となった白山工区は、県道久居美杉線から県道白山小津線まで1.7kmの新設整備区間です。ゴルフ場を横断

することから協議調整に数年間を費やし、本格的な工事は平成20年度に着手しました。ゴルフコースは100mの函渠工でアンダーパスし、直後を10万m³の流用土を用いた各種盛土工法で築造するなど、三期地区最大の難所となりました。23年度までに始点終点の交差点改良を終え、本年度の舗装工、安全施設設置をもって完了となることから、25年3月末日に竣工式、同日より供用を開始する予定です。



5. おわりに

現在、中勢バイパスが建設中ですが、中勢地域を南北に縦断する道路は、国道23号とグリーンロードの2系統でした。このため、グリーンロードは農産物の流通はもちろん、地域の主要道路として広く利用されてきたことから、これを延伸する中勢三期地区にも大きな期待が寄せられています。農道整備区間5.9kmは本年度で完了することから、今後は二期地区終点の国道165号から県道二本木御衣田線までのバイパス区間1.1kmの整備が待ち望まれています（津建設事務所が用地調査中）。一日も早くグリーンロード全線が結ばれ、中勢地域の農業の振興、農村の生活環境の向上に寄与することを期待します。